

【解答例】2023年度 第23回 キャリアコンサルタント試験 実技（論述）【模擬】試験
キャリアコンサルティング協議会

| | | | |
|---------|--------|-------|--------------|
| No. C01 | A グループ | 年 月 日 | 令和5年6月25日(日) |
|---------|--------|-------|--------------|

【設問1】事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、Zさんがこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

去年、定年退職後に人事部で労務管理に勤務しているが、予想以上にやりづらく難しい大変な仕事だと思っている。また、周囲からの協力が得られず、自身の経験を求められていることへの責任を感じている。

【設問2】事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答を行ったと考えるかと記述せよ。

定年退職後に自らの希望で今の部署に異動したが、後悔している気持ちをまずは受け止めている。その点をふまえ、会社から求められている経験について困っているのは何故か、その背景を捉えるための応答。

【設問3】あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

①問題 主な問題は2つある。(1)労務管理の仕事を安直に捉えていたことと、会社からの役割を果たせていない(仕事理解不足)。(2)周囲に対する関係性に思い込みがある(コミュニケーション不足)。

②その根拠 上記の(1)「労務管理って簡単で楽」や「一通り勉強したつもり」等の発言から仕事に対する先入観が強い点。(2)「人事担当が詳しく教えてくれれば」や「職場の人たちが避けている」、「反応が好意的でない」等、周囲に対して協力が得られないとも感じており、他責の傾向が見受けられる点。

【設問4】設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

まずは、これまで相談者が高校卒業してから現在まで長年勤めてきたことを労い、引き続き傾聴していく。そして、設問3であげた(1)の解消として、業務マニュアルやチェックリスト等を用いて労務管理の仕事の内容を再認識してもらう。その過程で相談者が求められている役割について、上司や人事担当者等に再確認するよう促し、明確化する。(2)の解消は、まずは部分的焦点づけやレッテル貼り等の認知の歪みを解消するよう自己認識してもらう。くわえてアサーションのスキルを伝達し、周囲との関係性を改善していく。以上により、相談者が会社からの役割を果たし、新たな仕事へ適応できるよう支援する。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。